

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 令和5年度事業評価シート

		担当課	生涯学習課
事業名	①教育と学ぶ力で活力を引き出す「大館版リカレント教育」		
計画期間	令和2年度から5年度		
目的	大館市を支えるのは少数精鋭のまちづくりであるにとらえ、大館に居ながら社会人の学び直しの講座を含む多種多様な講座を受講できるポータルサイトの構築と、大館教育のブランド化・産業化により大館ふるさとキャリア教育の10年間の成果(全国トップレベルの学力や自己肯定感の高さを培う教育など)を全国に情報発信する仕組みをつくる。教育と地域社会のさらなる活性化を図り、人生100年時代に対応した社会参加や社会貢献を担う人財育成につなげる。		
実施内容	(1) 大館教育のブランド化・産業化 ・ふるさとキャリア教育の体験、こどもハローワークの紹介、学校授業への市民参加を募るなど、大館教育を市民や全国へ情報発信する。 ・教育視察、研修の受入れ、サマースクール、ウインタースクールの体験等を教育ツーリズムとしてパッケージ化を図る。 ・ふるさとキャリア教育後の、郷土愛が高まり地元で働きたい高校生・若者をサポートする。 (2) 大館版リカレント教育ポータルサイトの構築 ・大館で学べるプログラムとして、点在する教室や講座の整理と活用促進を図り、市民の学びたいニーズを充足する。 ・リモート講座やアーカイブなどを取り入れた多彩なポータルサイトとする。 ・就労や起業につながるサイトとする。 ・ポータルサイトの中で分類化し、多種多様な講座を展開する。		
KPI (令和5年度末目標)	・大館学び大学を活用または関わった人のうち、新たに就職(又は転職・起業)した人数(人) 13人 ・有料講座・教育ツーリズム事業の収入額(万円) 196.2万円 ・ポータルサイトへのアクセス数(回) 54,733回 ・ポータルサイト運営への協賛団体の数(団体) 14団体	KPIに対する成果 (●達成、○未達)	○大館学び大学を活用または関わった人のうち、新たに就職等した人数 11人 ○有料講座・教育ツーリズム事業の収入額 98.64万円 ●ポータルサイトへのアクセス数 61,499回 ○ポータルサイト運営への協賛団体の数 5団体
達成度	A:達成 B:おおむね達成 C:未達成		B

(単位:千円)

令和5年度	
総事業費	交付金額
16,462	8,231

## 1.令和5年度の取り組み等

<p>(1) ポータルサイト講座管理運営 講座開催にあたっては、広く市民が参加できる講座企画を行った。</p> <p>① 働く学部の5学科(実用学科、地域学科、創造学科、生活学科、未来学科)における、女性講師による開催講座、大学及び市内外企業並びに企業版ふるさと納税寄附による事業連携特別講座等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全71講座、897名が参加(うち女性講師による開催講座25講座、企業連携などによる特別講座5講座)</li><li>・隣接する2市1町との連携事業4回(小坂町、鹿角町、北秋田市、能代市)</li><li>・農業マッチング講座及び農業部門との連携(これから始める農業講座、イタリア料理講座、スイーツ講座、和食料理講座)</li></ul> <p>(2) 大館教育のブランド化・産業化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大館教育の情報発信及び広報活動 各小中学校及び取り組み紹介(2次元コードの活用)、教育雑誌への教育視察受け入れ広告掲載(2回)を実施したほか、東北六州市町村教育委員会連合会総会における情報発信、教育視察感想レポート(記事校正/画像修正・WEB掲載)、教育視察用広告動画(更新)などを行った。</li><li>・教育視察・教育ツーリズムのWEB申込業務</li></ul> <p>(3) 講座開設拠点整備</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・NPO法人事務室、講座開催場所として活用</li></ul> <p>(4) ポータルサイト保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ポータルサイト保守管理及び更新並びに校正</li></ul>
--

## 2.今後の取り組み

<p>学びによる人材育成、専門的知識の習得、若い世代の公民館利用の促進を主な目的として、市民の学びの場を構築していく。また、市民のニーズを活かす講座である大館学び大学事業ほか、大学・企業連携による講座内容を充実させることにより、受講者数の掘り起こしを図ります。</p> <p>今後はポータルサイト「大館学び大学」の運営、オリジナル講座の実施などを市民がより親しみや身近に感じてもらえる、中央公民館を運営主体としていき、郷土愛の醸成や、大館を支える人材の育成を推進していく。</p>
--

## 懇談会意見

KPI達成に有効な事業であったと <input checked="" type="radio"/> いえる <input type="radio"/> いえない
--

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 令和5年度事業評価シート

		担当課	観光課
事業名	②野遊びSDGsの推進 (三重県いなべ市、北海道芽室町との連携)		
計画期間	令和2年度から6年度		
目的	<p>本市は、秋田犬、きりたんぼ、曲げわっぱなど全国的に有名な特産物や伝統文化を有するとともに、豊かな自然、美味しい食、台風や地震などの災害が少ないといった利点も多く、自然と共生し人間らしい生活を取り戻すという価値観に裏打ちされたライフスタイルを可能にするリソースが充実しており、滞在を楽しむことができる目的地としてのポテンシャルは非常に高い。</p> <p>このリソースをうまく組み合わせ活用し、交流人口を拡大させるツールにまで磨き上げ、エリアブランディングの核として官民一体となって交流人口拡大に向けた取組みを進め、人口減少が進む中でも持続可能な地域づくりを実現する。</p>		
実施内容	<p>令和2年度に事業計画を策定後、大きく4つの事業を展開する。(令和2年度から6年度まで)</p> <p>(1) 拠点開発・運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点エリアの全体構想及びコンセプト作成(2年目)</li> <li>・拠点内の施設運営方法及び運営事業者選定に向けた準備(//)</li> <li>・運営事業者の選定とサービス向上のためのトレーニング実施(3年目)</li> <li>・施設のWEBサイト制作開始、市内施設を活用した受入開始(3年目)</li> <li>・施設運営の本格開始(4年目~)</li> </ul> <p>(2) コンテンツ開発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「五色湖」での水上アクティビティ等の調査・検討(2年目)</li> <li>・水上アクティビティの造成及びさらなるアクティビティの調査・検討(3年目)</li> <li>・各アクティビティの内容精査、改善(4年目~)</li> </ul> <p>(3) 情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野遊びSDGs事業の認知度を高めるため、市民向けイベントの開催(3年目)</li> <li>・市民向けイベントの開催と、自然やアウトドアの媒体を中心としたメディア掲載開始(4年目)</li> <li>・Google広告・SNS広告、インフルエンサーの招聘を通じた情報発信(5年目)</li> </ul> <p>(4) 地域連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携自治体との協議会の設置、情報共有や各種の共同事業の推進</li> </ul> <p>●ハード整備</p> <p>田代岳エリア内の「ファミリー広場」「五色湖キャンプ場」「五色湖ロッジ」「多目的運動広場」を拠点として、ハード整備を進める。</p>		
KPI (令和5年度末目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「野遊びSDGs」プログラムを利用した人の消費額(千円) 3,100千円</li> <li>・「野遊びSDGs」を利用した人の1回滞在当たりの客単価(千円) 200千円</li> <li>・「野遊びSDGs」による地域産業創出件数 2件</li> </ul>	KPIに対する成果 (●達成、○未達)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「野遊びSDGs」プログラムを利用した人の消費額(千円) 0千円</li> <li>○「野遊びSDGs」を利用した人の1回滞在当たりの客単価(千円) 0千円</li> <li>○「野遊びSDGs」による地域産業創出件数 0件</li> </ul>
達成度	A:達成 B:おおむね達成 C:未達成		C

(単位:千円)

令和5年度		令和6年度
総事業費	交付金額	総事業費(交付決定額)
19,633	9,816	107,600(53,800)

## 1. 令和5年度の取り組み等

ハード事業では、令和4年度に完成した実施設計を基にキャンプ場及び多目的運動広場の土木工事を進める計画であったが、災害復旧による施工業者の人員不足が影響したこともあり、入札が2度不調になるなど施工業者の決定に時間を要した。そのため、令和5年度に予定していた内容から、支障物の撤去、伐採・伐根、キャンプ場ドッグランフェンスの製作に工事内容を縮小して実施した。また、物価上昇に伴い全体工事費の増加が見込まれることから、アウトドアフィールドとしての機能及び満足度を維持しつつ経費削減を図るため、全エリアの設計内容について再検討を行なった。

ソフト事業では、令和4年度に作成したビジョンマップを基に、地域資源を実際にお客様に提供していくための体制づくりや商品化を目指した商品設計会議を実施した。春夏秋冬それぞれのコンテンツの実証実験の場としてモニターツアーを企画、冬にはノアソビSDGs協議会及び秋田犬ツーリズムとの連携により、ノアソビSDGs協議会関係者やタイ人など、初となる市外在住者を対象としたモニターツアーを行なった。冬のモニターツアーと併せて、ノアソビSDGs協議会のフォーラムを開催し、連携する北海道芽室町、三重県いなべ市のほか、協議会新規加入自治体との情報共有を図ることができた。また、SNSの運用を開始し、これまでのモニターツアーをはじめとした当該エリアにおけるコンテンツの情報発信を継続して行っている。

## 2. 今後の取り組み

7月15日付けの新聞で報道されたとおり、運営を担う予定だった事業者が撤退することとなった。撤退する事業者を含む4社の企業体が設計を手掛けており、新たなパートナー企業の模索及び設計自体の見直しを行う必要がある。このことから、事業の進捗はさらに遅れることが予測されるが、事業継続に向けて方針を見直していく。

## 懇談会意見

KPI達成に有効な事業であったと  いる  いえない

・(継続にあたり)これまでに取り組んできたソフト事業とハード事業にタイムラグが生じるので、さらに地元の機運を高めていくことが必要。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 令和5年度事業評価シート

		担当課	観光課
事業名	③奥秋田サステイナブルツーリズムプロジェクト ～地域の強みをサステイナブルな取り組みに進化させ、稼ぐ観光へ～		
計画期間	令和4年度から6年度		
目的	国内外で環境・文化の振興を志向するすべての人々を対象に、『未来に向けて自然と暮らしを守り、活かし、つなげる。恒久なる時空を超えた、成長する・貢献する旅づくり』をコンセプトとした、北奥羽の広域的な連携による相互の発着型観光となる「旅づくりの拠点」整備と、『環境にやさしい、身体にやさしい、人にやさしい奥秋田』をコンセプトとした、「環境、産業、教育、文化、自然」などの様々な分野に当エリアの強みであるサステイナブルを付加価値として新たに加えた、モノ（商品）とコト（観光）を開発し、「稼ぐ観光、豊かな暮らし」に繋げる。		
実施内容	1. エコツーリズムを核とした新たな市場開拓と稼ぐ仕組みづくり 2. 観光を活用した地域の自然・文化・経済の持続可能性向上のための態勢整備 1) 地域における持続可能性に配慮した取り組みの拡大支援 2) 修学旅行・農泊にかかる持続可能な実施基盤の確立 3) 海外留学生受け入れのためのプログラム開発、枠組みの整備		
KPI (令和5年度末目標)	・地域への経済波及効果 16,468百万円 ・教育市場（修学旅行・教育旅行・留学）収入 4,516千円 ・農家民宿関連（農泊・農業体験・きりたんぼ作り体験等）収入 2,660千円 ・来訪者の地域のサステイナブルな取り組みに対する評価（5段階評価） 4.12ポイント	KPIに対する成果 (●達成、○未達)	○地域への経済波及効果 16,468百万円（※仮） ●教育市場（修学旅行・教育旅行・留学）収入 4,768千円 ●農家民宿関連（農泊・農業体験・きりたんぼ作り体験等）収入 2,881千円 ●来訪者の地域のサステイナブルな取り組みに対する評価（5段階評価） 4.21ポイント
達成度	A:達成 B:おおむね達成 C:未達成		A

(単位:千円)

令和5年度		令和6年度
総事業費	交付金額	総事業費(交付決定額)
34,160	17,080	58,616(29,308)

## 1. 令和5年度の取り組み等

### 1. エコツーリズムを核とした新たな市場開拓と稼ぐ仕組みづくり

・「マタギツツアー」のビジネスモデル構築（現役マタギによるトレイルガイド、生活や文化を体験できるメニューの創出等）

・ClanPEONY津軽（登録DMO）と連携した合同勉強会・ワークショップの開催（年2回）

・八幡平DMO、VISITはちのへ、かつのDMO（いずれも登録DMO）と連携した、台湾人観光客向けのレンタカー周遊促進事業の展開

・外国人インフルエンサーを活用したエリアプロモーション

・国内外のTVメディア等を活用したエリアプロモーション

・海外におけるPRイベント・特産食材を活用したキャンペーンの開催や、旅行博への出展によるプロモーション

・ハチ公生誕100年をフックとしたエリアプロモーションのための首都圏向けフリーペーパーの発行・配付

・ホームページ「VISIT AKITA」のリニューアル

・ジビエ産業化・観光活用の可能性調査

・枝豆や比内地鶏等の特産品を活用した商品開発

・都内商店街と地元産直を繋ぐ、産地直送型取引事業「ハチベジ」の展開

### 2. 観光を活用した地域の自然・文化・経済の持続可能性向上のための態勢整備

#### 1) 来訪者属性・満足度調査

・来訪者調査のデジタル化（内製化、省力化）

・観光マーケティングの専門家を活用した調査項目の見直し、分析の内製化に向けたアドバイス

#### 2) 地域における持続可能性に配慮した取り組みの拡大支援

・ローカルラジオ局を活用した地域住民向けの活動紹介・機運醸成

・域内の観光事業者らを対象とした「持続可能な観光地域づくりセミナー」の開催（秋田県北秋田地域振興局との共催）。

#### 3) 修学旅行や企業研修等の受け入れに向けた持続可能な実施基盤の確立

・ハチ公生誕100年事業を通じた渋谷区の企業研修や団体旅行の誘致（R5年度：6件）

・タイ王国の旅行会社・企業代表者招聘によるインセンティブツアー（報奨旅行）誘致の可能性調査

#### 4) 留学生受け入れのためのプログラム開発、枠組みの整備

・AKITA INAKA SCHOOLにおける外国人留学生の受け入れ促進（文化体験のコーディネート等）

・地元中学校と連携した住民巻き込み型ワークショップの開催に向けた企画検討

## 2. 今後の取り組み

KPIは概ね達成できているためこれまでの事業を継続しながら、一部事業については下記のようにステップアップや見直しを図る。

1. エコツーリズムを核とした新たな市場開拓と稼ぐ仕組みづくり
  - ・Webマーケティングスキルの向上
  - ・「マタギトレイル」の商品化と高付加価値化に向けた協力体制の構築
  - ・十和田八幡平国立公園を巡る各種事業における連携（八幡平DMO、十和田奥入瀬観光機構、かづのDMO）
  - ・インフルエンサーや各種メディアを活用したエリアプロモーション
  - ・ハチ公生誕100年をフックとしたエリアプロモーション
  - ・ホームページ「VISIT AKITA」における体験コンテンツ等予約の集約化
  - ・枝豆や比内地鶏等の特産品を活用した商品開発
2. 観光を活用した地域の自然・文化・経済の持続可能性向上のための態勢整備
  - 1) 来訪者属性・満足度調査
    - ・来訪者調査の継続と分析結果を踏まえた戦略の最適化
  - 2) 地域における持続可能性に配慮した取り組みの拡大支援
    - ・地元紙やローカルラジオ局を活用した地域住民向けの活動紹介・機運醸成
  - 3) 修学旅行や企業研修等の受け入れに向けた持続可能な実施基盤の確立
    - ・国内外企業の研修旅行やインセンティブツアー（報奨旅行）の誘致
  - 4) 留学生受け入れのためのプログラム開発、枠組みの整備
    - ・AKITA INAKA SCHOOLにおける外国人留学生の受け入れ促進（文化体験のコーディネート等）
    - ・地元中学校と連携した住民巻き込み型ワークショップの実施

## 懇談会意見

KPI達成に有効な事業であったと  いえる  いえない

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 令和5年度事業評価シート

		担当課	スポーツ振興課
事業名	④スポーツコミッション大館によるスポーツツーリズムの推進と交流を生むまちづくり		
計画期間	令和4年度から6年度		
目的	スポーツイベントや地域資源を活用したスポーツツーリズムの推進、スポーツによる市民の健康増進と地域間交流を促進するとともに、大館市のスポーツへの取り組みを内外に発信し、スポーツの持つ力を活用した交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクルイベント(ロード・マウンテン)</li> <li>・山田記念ロードレースサイドイベント</li> <li>・トップスポーツ観戦</li> <li>・スポーツ実施率向上のための環境づくり</li> <li>・AIカメラ及び動画共有サイトによる情報発信</li> </ul>		
KPI (令和5年度末目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツツーリズムによる誘客 5,500人</li> <li>・スポーツ合宿及びスポーツ大会等による宿泊数 1,588泊</li> <li>・友好都市との交流事業関係人口の拡大 57人</li> <li>・スポーツ実施率 43%</li> </ul>	KPIに対する成果 (●達成、○未達)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツツーリズムによる誘客 6,261人</li> <li>○スポーツ合宿及びスポーツ大会等による宿泊数 1,200泊</li> <li>●友好都市との交流事業関係人口の拡大 59人</li> <li>●スポーツ実施率 47.7%</li> </ul>
達成度	A:達成 B:おおむね達成 C:未達成		A

(単位:千円)

令和5年度		令和6年度
総事業費	交付金額	総事業費(交付決定額)
26,446	13,223	36,988(18,494)

## 1. 令和5年度の取り組み等

### (1) アウターに対する取組

#### ① サイクリングイベント(ロードバイク及びマウンテンバイクを活用した観光客の誘致)

##### i) ロードバイク

・「自転車を活用したイベント連絡会」の設置

サイクリングイベント開催への協力及び自転車による継続的な観光客誘致についての情報交換を目的に、大館市・鹿角市・北秋田市・小坂町・北秋田地域振興局・鹿角地域振興局・秋田犬ツーリズム・かづの観光物産公社・チームあぶとく・スポーツコミッション大館の10団体で組織した。

・ハチ公きりたんぼライドテストイベントの実施

地元サイクリングチームなど70名参加によるテストイベントを実施して令和6年度の本イベント開催に向けた課題の洗い出しを行った。あわせて、ユーチューバー2名のコース実走動画とスポーツチャンネル大館(YouTube)でテストイベントの様子を公開して本イベントに向けた宣伝活動を行った。

・期間型サイクリングイベントの実施

持続可能なサイクリスト誘客方法として、サイクリングアプリを活用した期間型イベントを8月～11月の4か月間実施し、320名(うち県外238名)の参加があった。

##### ii) マウンテンバイク

・地域住民で組織される「野遊びSDGsワーキンググループ」と令和4年度に本事業で作成した五色湖エリアの誘客コンテンツを共有し、マウンテンバイクとテントサウナや昼食をかけたアクティビティ開発(コース実走による現地調査)やメンバー及び関係者によるモニターツアーを2回行った。

#### ② 山田記念ロードレースサイドイベント

・レース前日に招待ランナーによるトーク&ランニングクリニックを実施、前日に宿泊する理由づけを行い宿泊者数の増加を図った。

・参加ランナーが記念撮影できる「インスタ映えする」ステージを設置して参加者のSNSによるイベントPRを行った。

・ハチ公生誕100年ブースやキッチンカーの来店により、大館のPRやイベント会場での消費額の増加を図った。

#### ③ トップスポーツ観戦を通じた友好都市との交流

渋谷区との連携事業「ハチ公生誕100年プロジェクト」に関連して、渋谷区に本拠地を置くサンロッカーズ渋谷と秋田ノーザンハピネッツによるBリーグ招待試合を計画していたが、先方チームとの日程調整が整わず実施できなかった。

※ バスケットボール天皇杯の誘致により、スポーツツーリズムによる誘客(7,085人)に成果があった。

### (2) インナーに対する取組

#### ① スポーツ実施率向上のための環境づくり

スポーツ実施率向上のため、体成分分析装置(InBody970)を導入し、筋肉や脂肪など自分の身体を知ること、スポーツ・健康づくりを行う動機づけを行うとともにスポーツ・健康づくり継続のための教室を実施。

##### i) フレイル予防・健康づくり教室

・地元インストラクターを講師とした高齢者を対象の運動教室を17回実施。タクミアリーナ8回(126人) 比内公民館9回(94人)

・体成分分析装置(InBody970)での測定。体カテスト開催時等 186人

##### ii) 小中高生向けスポーツ教室

・ミニバスケットボール強化クリニック 秋田ノーザンハピネッツ選手2名とアシスタントコーチ1名による教室を実施。市内スポーツ少年団から48名参加。

・リトミックエクササイズ教室 スポーツによるケガ予防を目的としたコーディネーショントレーニングとして実施。スポーツ少年団や中高部活動の43団体が受講。

#### ② AIカメラ及び動画共有サイトによる情報発信

ふるさと納税や企業版ふるさと納税の獲得、スポーツ合宿とイベント誘致、市民のスポーツへの関心を高めることを目的としたAIカメラ及び動画共有サイトでの情報発信を行った。

・AIカメラ配信サイト「大館スポーツAIライブ」によるスポーツ大会の配信

ニプロハチ公ドーム:野球90試合 タクミアリーナ:バスケット46試合

閲覧数(令和5年度)14,668(日本:14295 アメリカ:278 インドネシア:73 中国:26 オーストラリア:16)

・YouTube「スポーツチャンネル大館」で市民のスポーツ活動やイベントの様子を12動画配信(4年度・5年度合計47動画配信)

## 2. 今後の取り組み

### <自転車を活用したスポーツツーリズム推進>

ロードバイクの1日型イベントと期間型イベントの実施。大館市野遊びSDGsワーキンググループとの連携によるマウンテンバイクを使用したアクティビティの事業化に取り組み、持続可能な自転車によるスポーツツーリズム(サイクリング観光での誘客)で、誘客と宿泊数の増加、関係人口の拡大に取り組む。

ロードバイクの取り組み

#### ・1日型イベント

ファンライドイベント「ハチ公きりたんぼライド」の開催。

4コース設定(150Km、100Km、60Km 10Km)

大館市及び近隣市町にサイクリングコースがあることを全国に周知。

サイクリング観光客の誘致に取り組む。友好都市の渋谷区を通じて参加者募集を行う。

#### ・期間型イベント

サイクリングに特化した旅行支援アプリを活用。

観光客誘致手法のデジタル化。(サイクリング観光客を対象)

開催期間中に参加者が自分の日程に合わせて参加することが可能。

持続可能なサイクル観光の誘客と観光消費額の増加に取り組む。

マウンテンバイクの取り組み

大館市野遊びSDGsプロジェクトとの連携によるアクティビティ商品の開発。

サイクリスト及びアクティビティ観光客の誘致に取り組む。

※ 令和6年度も継続して商品開発及び事業化推進中のため誘客等のKPI目標を設定しない。

### <山田記念ロードレース サイドイベント>

令和6年度はレース前日のゲSTRANナーの「トーク&ランニングクリニック」や「県外参加者のおもてなし方法の工夫」などイベント内容の充実を図るとともに、渋谷表参道ウィメンズランなど友好都市で開催されているランニングイベントとの連携により、誘客と宿泊数の増加、関係人口の拡大に取り組むとともに、イベント会場の飲食提供や地元産品販売の出店数増加を図り観光消費額の増加に取り組む。

・レース前日のトークショーやランニングクリニックなど「前泊」する動機づけによる宿泊日数の増加。

・リピーター獲得及び女性ランナー増加につながる「県外参加者へのおもてなし方法の工夫」によるイベント内容の充実。

・飲食や物販ブース設置による食と産品のPRによる観光消費額の増加。

・参加者のSNSなどのネットワークを活用したイベント周知を図る。

・渋谷表参道ウィメンズランとの連携による友好都市との交流人口拡大。

### <トップスポーツ観戦による交流人口の拡大>

令和6年度については、バスケットボールWリーグの大館市開催が定例化したこと、バスケットボール天皇杯の開催について県内トップチームが積極的に誘致活動を行っていることから、交付金を充当しなくとも誘客人数・宿泊数・関係人口拡大について一定の効果が見込まれることから、交付金事業としては取り組まないが継続して県内トップチームへの大会誘致活動を行う。

### <スポーツ実施率向上のための環境づくりと交流の促進>

令和6年度からは「市民のスポーツ実施率向上のための環境づくり」を「誘客と宿泊数の増加」に結びつけるための取り組みを行う。特にポッチャ交流大会は、友好都市渋谷区と出場者の相互派遣を行っていることから、ポッチャをフックとした関係人口拡大の展開に取り組む。

スポーツ・健康づくりの習慣化

・体成分分析装置(InBody)を使用した「身体状態(脂肪量・筋肉量など)」の見える化による動機づけ。

・市民(匿名による被験者)の身体状態のデジタルデータの収集及び保存。

・体成分分析装置(InBody)の付属アプリを利用した栄養指導と運動指導の提供。

・地域のスポーツ競技団体及びインストラクターによる教室実施(スポーツ活動の「受け皿」づくり)

・教室実施による競技団体の教室運営スキル向上への取り組み。

・教室実施による地域インストラクター増加への取り組み。

スポーツ教室や講習会による競技力向上と交流の促進

・トップスポーツチームや著名講師による教室実施。

・トップスポーツチームや著名講師の指導によるスポーツ活動へのモチベーション向上を図る。

・現役アスリート及びアスリートのセカンドキャリアを活用した合宿型講習会の実施。

・合宿型講習会による他地域選手と地元選手の交流による競技力向上への取り組み。

・合宿型講習会によるアスリートの関係人口拡大。

ボッチャを通じた共生社会への理解と交流の促進。

- ・競技普及による高齢者及び障がい者のスポーツ実施率向上。
- ・競技普及及び交流会や大会を通じた障がい者や共生社会への理解促進。
- ・定例交流会による市内及び近隣地域の愛好者の交流。
- ・大会を通じた海外及び県外チームとの交流。

#### <AIカメラと動画共有サイトによる情報発信と合宿・大会の誘致>

令和6年度からは、全国的に公共スポーツ施設への設置が少ない「AIカメラ」をセールスポイントにして国内最大規模のスポーツ展示会に出展。AIカメラ設置施設の利便性をアピールすることで、合宿・大会の誘致及び関係人口の拡大につなげ、誘客数・宿泊数及び関係人口の増加と拡大に取り組むとともに、市民に向けたスポーツ情報の提供によるスポーツ実施率の向上に取り組む。

- ・AIカメラによるニプロハチ公ドーム及びタクミアリーナの試合配信。
- ・AIカメラをセールスポイントとした合宿及び大会誘致、企業版ふるさと納税獲得を目的としたスポーツ関連展示会への出展。
- ・動画共有サイトを媒体とした市民のスポーツ情報の共有。
- ・動画共有サイトを活用したスポーツに関するふるさと納税の獲得。

#### 懇談会意見

KPI達成に有効な事業であったと  いえる  いえない